

目次	・ 新年の支部長ご挨拶	1
	・ 活躍する技術士	2
	・ 茨城県支部組織の紹介	3
	・ 新年講演会・交流会開催	4
	・ 茨城県支部各委員会の活動紹介	5

新年の支部長ご挨拶

～気持ちも新たに、活動をさらに充実させよう～

茨城県支部 支部長 本田 永信

新年おめでとうございます。気持ちも新たに新しい年を迎えられたことと思います。昨年末の総選挙で政権が変わり、デフレと円高からの脱却で経済再生に期待がかかります。本年は巳年でもあり、弁財天が訪れる豊かな年になることを願いたいものです。

昨年スタートした茨城県支部ですが、初めてのことばかりで立ち上げに時間がかかっています。昨年は、年次大会・講演会の開催、「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏祭り 2012」および「青少年のための科学の祭典ひたちなか大会」に出展、CPD ミニ講座(ザ・技術士)開催、テーマ毎の CPD 啓発講座で見学会の開催などを行いました。また、本年 1 月には新春講演会・交流会を予定しています。まだまだこれからですが一步一步着実に進めていきます。

本年は活動をさらに充実させるよう取り組んで参ります。茨城県支部活動の案内は月刊雑誌「技術士」の会合・行事予定のページに掲載し、日本技術士会のホームページの茨城県支部のページ、CPD 行事のページに掲載します。あわせて支部会員へ同報メールで連絡します。メールアドレスを登録していない会員はホームページの会員コーナーから登録をお願いします。また、サポートインダストリー事業などの中小企業支援、CPD ミニ講座(ザ・技術士)講師募集、理科教育支援など、いろいろな活動へ会員皆様の参画・支援をお願いしていきます。地域活動への参画を是非お願いします。

なお、今年は役員選挙の年です。「技術士」2012/12 月号に支部幹事を含めスケジュールが掲載されています。詳細は [日本技術士会ホームページ] ⇒ [会員コーナー] ⇒ [地域組織幹事選出選挙] を参照下さい。

本年も茨城県支部へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



本田支部長

あけましておめでとうございます

本年もどうぞ
宜しく願いいたします。

役員一同



2013 年 1 月 役員一同

活躍する技術士

今回は、茨城県支部の副支部長に就任された、佐藤 美律子さん、佐川 渉さんのお二人をご紹介します。

佐藤 美律子さん（建設部門）

副支部長をさせていただいています佐藤です。私は以前東京都板橋区役所に勤めており、公園の設計・現場管理やみどりの総合計画の策定や民間施設の緑化指導の仕事をしていました。みどりの総合計画を担当し、新規事業化した街角オアシス事業の第一号の公園でみどりのデザイン賞の建設大臣賞を受賞し、技術士を取得しました。現在は、(株)エイプラスデザインに所属し、筑波研究学園専門学校で都市計画や、卒業設計を指導しています。今年度は霞ヶ浦の親水公園を担当しています。(株)エイプラスデザインは、水戸駅のヤマダ電機が入っているサウスタワーや桜田門外の変の映画のオープンセットを設計した会社です。

家族は、(株)エイプラスデザインの社長であり仕事熱心の建築家の夫と東京大学大学院1年の長男、大学1年の長女、高校3年の次女の5人です。

自宅は、水戸市にあり、建築を夫が設計し庭を私が担当した作品で、茨城県建築文化賞を受賞しています。すべての部屋から庭のみどりを楽しめるように設計され、内部は色彩豊かなモダンな造りになっています。

趣味は、学生時代からやっていたテニスと健康のために始めたヨガやエアロビクスです。2年前に再開したテニスもだんだん楽しくなってきました。

技術士会は初めて役員をしております、わからないことがたくさんありますが、支部長はじめ役員のかたにご指導いただきながら頑張っています。どうぞよろしく願いいたします。



佐藤副支部長

佐川 渉さん（機械、原子力・放射線、総合技術監理部門）

昨年、副支部長を仰せつかった佐川です。私は、平成14年度技術士試験に機械、総合技術監理の第二次試験を受験・合格し、その後、新設された原子力・放射線部門を平成16年度に取得しました。日本技術士会では平成17年6月の原子力・放射線部会設立以来部会幹事を務め、部会の推薦を受け理事（平成19年度から2期4年）、国際特別委員会委員、広報戦略特別委員長、総務委員会委員を務めてきました。

原子力・放射線部門は初年度の合格者は21名でしたが、原子力学会と協力して技術士資格の受験拡大・取得支援に努め、7年後の現在の部会員は215名となり、その1/3は茨城県支部が占めています。

広報戦略特別委員会は、技術士および技術士会の社会的認知度向上のため情報発信の強化を目的として平成21年7月に設置され、外部有識者を含めた少数の委員で活動しています。戦略的な広報の検討対象をJABEE課程及び理系の学生、女子学生・女性技術者等に絞り込み、JABEE課程学生・理系学生に対しては、技術士を目指す動機付けとなるようなコンテンツを開発し、地域本部・支部・部会等と連携して全国的な活動体制を整備しました。女子学生・女性技術者への支援・広報活動を担う組織として男女共同参画推進委員会の設置を提案し、平成23年1月理事会において承認され、協力して活動しています。現在はさらに企業に対する広報について検討中です。

地域に密着した技術士活動を活発化し、茨城県支部をさらに発展させるよう役割を果たしていきたいと思っておりますので皆様のご支援を宜しくお願い致します。



佐川副支部長

茨城県支部組織の紹介

支部役員会			
支部長	本田 永信		
副支部長	佐川 渉	佐藤 美律子	
会計幹事	保坂 義男	高橋 正衛	
		事務局	主な業務
		事務局長	市毛 修
		①支部会員名簿の管理 ②事務所及び備品等の管理及び運営 ③会計処理に関する業務	
委員会	委員長	副委員長	主な業務
総務委員会	佐川 渉	市毛 修 日熊 幸男	①役員会に関すること ②全体会合に関すること ③事業計画の立案及び事業報告の策定 ④収支予算及び決算に関する業務 ⑤会員拡大に関すること ⑥事務局の所掌
研修委員会	丹 左京	飯泉 紀子	①支部が行う講演会、研修会等に関すること ②各種イベントに関すること ③技術者倫理の啓発
広報委員会	松本 宏	石田 正浩	①支部の広報、宣伝に関すること ②活動報告等の編集発行に関すること ③支部のホームページに関すること
業務・地域貢献委員会	佐藤 美律子	岸 敦夫 伊藤 裕	①技術士業務の研究・開発に関する事項 ②地域社会貢献活動に関する業務 ③その他技術士業務に関すること

支部役員

No.	氏名	技術部門	担当
1	飯泉 紀子	情報工学	研修委員会
2	石田 正浩	情報工学	広報委員会
3	市毛 修	電気電子、総合技術監理	事務局、総務委員会
4	伊藤 裕	原子力・放射線	業務・地域貢献委員会
5	今本 信雄	電気電子、原子力・放射線	総務委員会
6	沖津 修	化学	広報委員会
7	岸 敦夫	機械	業務・地域貢献委員会
8	小林 守	経営工学、情報工学、総合技術監理	研修委員会
9	佐川 渉	機械、原子力・放射線、総合技術監理	副支部長、総務委員会
10	佐藤 美律子	建設	副支部長、業務・地域貢献委員会
11	鈴木 勝利	建設	業務・地域貢献委員会
12	高木 建次	生物工学	研修委員会
13	高橋 正衛	電気電子、総合技術監理	会計幹事
14	丹 左京	建設	研修委員会
15	野口 芳樹	機械	広報委員会
16	日熊 幸男	情報工学、総合技術監理	総務委員会
17	保坂 義男	下水道、総合技術監理	会計幹事
18	本田 永信	電気電子、総合技術監理	支部長
19	松本 宏	電気電子、総合技術監理	広報委員会

新年講演会・交流会開催

2013年1月19日(土)、ワークプラザ勝田において新年講演会・交流会を開催しました。

講演会は下記2題の講演が行われ、64名の参加者で盛会でした。



新年講演会

◆ 講演 1 「やさしいエネルギー ～ 再生可能エネルギーへの期待 ～」

(独)産業技術総合研究所 環境・エネルギー分野 副研究統括 工学博士 中岩 勝 氏

現在ホットな話題である再生可能エネルギーについてご講演いただいた。生活にエネルギーは欠かせないものであるが、地球からの贈り物である化石エネルギーは使えば減っていく資源であり、再生可能エネルギーを上手に使うことの必要性を強調された。太陽エネルギー、風力エネルギー、水力エネルギー、地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーについて身近な例を上げてわかりやすく解説され、それぞれのエネルギーの持つ安定性などの技術的課題も指摘された。また、家庭の太陽光発電で作った電気を家庭で消費し、家庭用電池・電気自動車などの蓄電技術と組み合わせた地産地消への取り組み、パワーエレクトロニクスによる変換効率の向上も含めた送電ロスの削減などの必要性も力説された。一方、風を取り入れ、光を取り入れる京町家を例に省エネの重要性を取り上げ、省エネ、節電、省資源を心がけるよう呼び掛けられた。質疑応答では石炭活用技術、水素エネルギーの実用化状況などにも広がり熱心な論議となった。



講演される中岩氏

◆ 講演 2 「“品質”の語源について」

茨城県立産業技術短期大学 嘱託講師 技術士(情報工学) 石川 庄三 氏

品質保証業務に関わったことから「品質」とはいったいどういうところからきたものか、その語源の追求についてご講演いただいた。日本で初めて「品質」という用語を使用した人、書物は何かについて、図書館への調査依頼から始まり、明治、幕末の文献にたどり着くプロセスと文献の文言の解釈について熱意をこめて紹介された。明治、幕末のいろいろな和訳を含めた文献での取り扱い方、また、オックスフォード英語大辞書と日本国語大辞典での“Quality”と「品質」の取り扱いの違いに言及され、“Quality”の記述は「品質」の記述に比べ格段に多く、特に、人に関わる記述が非常に多いと力説された。語源を追求することで、「品質」とは品物の性質、品柄ではあるが、人に関わる要素が非常に多いことを示唆された。なお、国立国会図書館、県立図書館による文献調査などは非常に参考になった。



講演される石川氏

◆ 交流会

講演会終了後、茨城県商工労働部産業技術課 中嶋 勝也 氏 を来賓に迎え、チャイナハウス「遊遊」で交流会が開催された。

中嶋氏からは Facebook 「いばらきものづくり応援団」公開の紹介、中小企業支援補助金に関わる協力依頼などがあつた。

33名の参加者で盛り上がった交流会となった。



盛り上がった交流会

茨城県支部各委員会の活動紹介

総務委員会／事務局の活動

委員会 委員長 佐川 渉
事務局 局長 市毛 修

総務委員会／事務局では、茨城県支部としての事業計画の立案や会合などの取りまとめや会員の皆様への同報メールによる情報提供などを行っております。

1. 毎月の役員会の開催及びまとめ
毎月第4週の土曜日に茨城県支部幹事による会合を実施しております。
2. 事務局の管理
(株)ひたちなかテクノセンター3階の事務所への訪問を歓迎します。
なお、事務局は常駐しておりませんので、訪問時電話で確認ください。
電話；029-219-5154（不在時は電話転送）
3. 茨城県支部会員への同報メールの配信
会員の皆様への情報発信として、行事等の案内を行っておりますので、活用ください。
同報メールの配信依頼は、依頼文(300文字程度)を下記のEメールへ依頼ください。
E-mail；ibaraki@engineer.or.jp

研修委員会の活動

研修委員会 委員長 丹 左京

● これまでの活動

1. 全体会合(年次大会)でのCPD講演会

平成24年6月16日2テーマの講演会を開催しました。

- ・「茨城県の地盤と地震被害」
茨城工業高等専門学校長、東京工業大学名誉教授
日下 部治 氏
- ・「放射線と健康への影響について」
(独)日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学
研究所 放射線管理部長 古田 定昭 氏

2. テーマ毎CPD啓発講座

平成24年10月30日「国際競争力の強化」をテーマに見学会と説明会を開催しました。

- ・見学会：日立建機(株) 那珂臨港工場「大型建設機械の組立」
- ・説明会：「茨城県常陸那珂港湾整備事業」
茨城県茨城港湾事務所 課長 黒澤 文男 氏

3. CPDミニ講座「ザ・技術士」

「ザ・技術士」メンバーによる講演会を3回開催しました。

- ・第1回「印刷技術の開発の歴史」
技術士(電気電子部門) 梅田 高雄 氏
- ・第2回「私が体験したコンピュータの世界40年」
コンピュータソフトウェア工房アイデザイン代表
滝口 政光 氏
- ・第3回「一般競争入札の環境整備について、現在の移行状況」
建設工事検査機構代表 手島 久 氏

● 今後の予定

2月、3月にCPDミニ講座「ザ・技術士」を開催する予定です。また、見学会、修習技術者に対する説明会、JABEE課程者への技術士説明会の開催を調整中です。

現在、来年度に開催するCPDミニ講座「ザ・技術士」の**講演者を募集**しております。

特にテーマの指定はありませんので、気軽にお申し込みください。

お申込はFAXまたはメールにて、テーマ・概要、氏名、講演希望月および連絡先をご記入の上、お送り願います。

連絡先：FAX；029-265-5558(茨城県支部事務局) E-mail；ibaraki@engineer.or.jp



第1回年次大会



日立建機(株) 那珂臨港工場見学

業務・地域貢献委員会の活動

業務・地域貢献委員会委員長 佐藤 美律子

●これまでの活動

- 霞ヶ浦環境科学センター夏祭り 2012
 - ・日時：2012年8月25日
 - ・場所：茨城県霞ヶ浦環境科学センター
 - ・出展内容：技術士会の紹介、ポンポン舟工作、グラスハープ
- 青少年のための科学の祭典 2012 ひたちなか大会
 - ・日時：2012年11月3～4日
 - ・場所：ひたちなか市総合体育館
 - ・出展内容：技術士会の紹介、グラスハープ、メロディの小箱工作



霞ヶ浦環境科学センター夏祭り

●今後の予定

- 「中小企業小委員会」発足
 - ・「中小企業活性化研究会」の準備
 - ・中小企業支援事業の具体策検討
- 「科学・理科支援小委員会」発足
 - ・小中学生を対象にした理科授業支援
 - ・科学イベントを通じた啓蒙活動

これらの活動に参加するメンバーを募集します。



青少年のための科学の祭典

広報委員会の活動

広報委員会委員長 松本 宏

広報委員会では、次のような活動を通して、地域の中小企業や官公庁、及び会員皆様への情報提供と活動支援に貢献していきます。会員皆様からの積極的な情報提供をお願いいたします。

- 茨城県支部会報の発行
 - ・2回/年（1月、7月）発行
 - ・ホームページへの掲載（会員向け）及び印刷配布（官公庁等関係者むけ）
- 月刊「技術士」への情報掲載
 - ・行事予定等の情報提供
 - ・原稿は随時受け付けています。所定のフォーマットで申し込んでください。
- 日本技術士会ホームページへの情報掲載
 - ・茨城県支部のページを持ち、継続的に情報を更新していきます。
 - ・役員会、委員会等の活動報告
 - ・CPD講座等の研修会、その他の行事予定情報
 - ・原稿は随時受け付けています。

ホームページに関して

既にご存じのように、茨城県技術士会は2012年6月に解散し、日本技術士会茨城県支部に移行しました。これに伴い、ホームページのURLが変更になりました。

日本技術士会のページは <http://www.engineer.or.jp> で、そこから「地域本部・県支部・部会・委員会」⇒「関東甲信地区における県支部」⇒「茨城県支部」と入室し閲覧できます。

編集後記

- ◆公益社団法人日本技術士会茨城県支部としての会報を発行する運びとなりました。
- ◆これまでの茨城県技術士会とは違った環境での発行となり、様々な戸惑いを感じながらの創刊号です。
- ◆広報委員会は、茨城県支部の会員相互の情報交換と、外部諸機関への情報発信の場として、年2回の「会報」発行を通して、その役割を継続していきたいと思っています。
- ◆会員諸氏のこれまでに変わらぬご支援をお願いいたします。 (Hm)

広報委員会：松本 宏(委員長)、石田 正浩、沖津 修、野口 芳樹、荻原 覚、頗羅墮 彰

・情報提供は、E-mail：matsumoto_pe@net1.jway.ne.jp(松本)まで